

モニタリング結果報告書 (令和2年度)

1. 施設概要

施設名	真鶴港		
所在地	足柄下郡真鶴町真鶴21		
サイトURL	http://www.town.manazuru.kanagawa.jp/ (真鶴町ホームページ)		
根拠条例	港湾の設置及び管理等に関する条例		
設置目的(設置時期)	港湾法に基づき、秩序ある整備と適正な運営を図るため (昭和39年8月)		
指定管理者名	真鶴町		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31 (2019年) (2024年)	施設所管課 (事務所)	砂防海岸課 (県西土木事務所 小田原土木センター)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
※新型コロナウイルス感染症が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。	
<p>当施設は港湾行政事業の実施について、県の港湾整備行政との一体性が特に求められる中で、協定書及び事務処理要綱等に基づき、係留施設の利用承認業務や港湾の維持管理業務を実施している。日々の巡視や清掃・小規模修繕により、港湾環境の保全に努めていると認められるため、今後も継続して業務に取り組まれない。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染拡大等の影響で利用状況がC評価、利用者の満足度も評価不能となり、収支状況がB評価となったため、3項目評価はC評価となった。</p>	
<各項目の詳細説明>	
◆管理運営等の状況 年間を通じて、船舶の岸壁利用やヨット係留等に係る利用承認業務、港湾施設維持管理業務を着実に実施した。岸壁利用42件、係留58件、入出港届26件の受理を行った。	
◆利用状況 新型コロナウイルス感染拡大と管理事務所の建替などの影響で、利用者数(ヨット出艇届ベース)は大幅に落ち込み、C評価となった。 なお、新しい真鶴港管理事務所が令和3年4月27日から供用開始したため、今後のコロナ感染症状況等に応じた取組を行うよう指示した。	
◆利用者の満足度 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、従来のアンケート調査機会がなくなってしまったため、郵送により実施したが、サンプル数が少ないため正確な評価の反映とは言い難く、評価不能とした。	
◆収支状況 令和元年度以降、会計年度任用職員制度の導入により、人件費が増加したため、支出は抑制したものの収支差額がマイナスとなったため、B評価となった。	
◆苦情・要望等 該当なし。	
◆事故・不祥事等 該当なし。	
◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督者からの指摘事項はない。	
◆その他 特になし。	
3項目評価	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
C	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	なし
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	適宜	なし
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	指導・改善勧告等の内容
		なし

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
船舶の岸壁利用やヨット係留等に 係る利用承認業務	年間を通じて、岸壁利用は計42件、 係留は計58件の利用承認業務を行っ た。入出港届についても計26件の受 理を行った。	継続して取り組まれた い。
港湾施設維持管理業務の実施	真鶴港は観光客等が多く訪れること から、琴ヶ浜の公衆トイレなどの清 掃及び巡視業務等を毎日実施した。	継続して取り組まれた い。
例年「海のまち豊漁豊作祭」にお いて利用者に対するアンケートを 実施	新型コロナウイルス感染症拡大予防 のため「海のまち豊漁豊作祭」が中 止となったため、3月に郵送して実 施した。	利用者満足度調査の実 施方法について検討が 必要である。

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
真鶴港みなとまちづくり協議会の開催	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため 中止した。
ヨットオーナーズクラブと意見交換会を開催	真鶴港ヨットオーナーズクラブと県、町の 間で港湾管理事務所の再築等について協議 を行った。

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

5. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
C	

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	3,249	2,000	397
対前年度比		61.6%	19.9%
目標値	-	3,248	3,312
目標達成率	目標値無し	61.6%	12.0%

目標値の設定根拠： 提案書の目標値

利用者数の算出方法（対象）： ヨット出艇届出数

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

主にヨット係留施設であるため

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)
①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響 ヨットの個人オーナーの減に加え、例年利用者数の大部分を占める商業用クルーズ船の出艇を取り止めざるを得ず大幅に減小した。
②令和2年度の対応状況 特になし

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
—	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	年間1回「海のまち豊漁豊作祭」時に調査	「海のまち豊漁豊作祭」開催中止のため、令和3年3月12日に郵送にて実施したが対象者が大幅に減少した。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容	利用状況、利用の印象
実施した調査の配布方法	郵送 回収数/配布数 3 / 3 = 100.0%
配布(サンプル)対象	真鶴ヨットオーナーズクラブ

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数		3			3	し尿施設、駐車場など設備が悪い。
回答率		100.0%				
前年度の回答数	5	9	1		15	
前年度回答率	33.3%	60.0%	6.7%			
回答率の対前年度比	0.0%	166.7%	0.0%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<p>【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)</p> <p>①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響 例年多くの来場者で賑わう「海(わたつみ)のまち豊漁豊作祭」が開催中止となったため、不特定多数を対象としたアンケート調査は実施不可能であった。</p> <p>②令和2年度の対応状況 引き続き「海(わたつみ)のまち豊漁豊作祭」等のイベントは開催中止となり、一般の利用者はあまり見込めないことから、母数は多くはないが、従来はアンケート調査とはしてこなかった短期係留者にもアンケートへの協力を依頼することにした。</p>

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計		支出	収支差額
前々年度	当初予算	16,965	0	0	0	16,965	16,965	0	
	決算	16,965	0	0	0	16,965	17,806	-841	95.28%
前年度	当初予算	17,647	0	0	0	17,647	17,647	0	
	決算	17,647	0	0	0	17,647	18,144	-497	97.26%
令和2年度	当初予算	17,290	0	0	0	17,290	16,975	315	
	決算	17,290	0	0	0	17,290	17,367	-77	99.56%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和2年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】
 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響
 特になし。

②令和2年度の対応状況
 平成元年度より会計年度任用職員制度を導入した結果、賞与分等の人件費が増加しており、現在の予算のままではマイナス収支は避けられない。そのため、事業計画の見直し等により、予算の適正化を図る。

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。